

中小企業ぎふ

Vol.673

2021年7月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市数田南5丁目14番53号
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

中央会は、「ウイズ・コロナ時代」の組合・中小企業の挑戦を応援します



淡く透ける深山の白磁



組合紹介 2~3

岐阜県自動車整備商工組合

クローズアップ企業 4~5

瑞浪陶磁器工業協同組合 組合員
「株式会社深山」

専門家コラム

「今をどう見る~生き残りツールとしての情報」 6~7

中央会の活動 8~11

- ・ 通常総会を開催
- ・ 新役員・表彰受賞者のご紹介
- ・ 各団体の活動報告

組合等の活動 11~13

- ・ (協)土岐美濃焼卸センター 職域接種をスタート
- ・ 岐阜県既製服縫製(工組) 岐阜県に医療用ガウン寄贈
- ・ 岐阜県テント・シート(工組)
岐阜県と災害時の物資調達に関する協定を締結

- ・ 飛騨高山旅館ホテル(協)
宿泊施設応援キャンペーンを実施
新型コロナウイルス感染対策を講じて総会開催
- ・ 岐阜県自動車車体整備(協)
ハイブリッド方式で研修会を開催
- ・ 岐阜県既製服縫製(工組)
プロフェッショナル・マシンオペレーター育成講座開講

景況レポート 14~15

全国の先進組合事例 16

- ・ たかやま林業・建設業(協)

組合イベント情報紹介 16

- ・ (協)日本ライン花木センター

インフォメーション 17

- ・ 全国大会のお知らせ
- ・ 中央会日誌
- ・ 中央会 職員コラム

暑中見舞廣告 18~22

組合 紹介

こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



岐阜県自動車整備商工組合

- 理事長 國枝 功
- 組合員数 1252名
- 設立年月 1978年4月
- 住所 岐阜市日置江2648番地の4
- TEL 058-270-1670

環境変化に対応した研修会を実施

◆組合の歴史・活動

■大手から個人まで1,200名を超える組合員が加入



國枝理事長

当組合は、自動車整備業を営む事業者で組織しています。組合員は、自動車ディーラー系の大手自動車整備工場から個人の自動車整備工場まで、多岐にわたります。

当組合は、昭和53年に1,237名の組合員をもって設立されました。自動車整備工場はコンビニより多くあり、今でも1,200名を超える組合員が加入しています。

当組合では、組織力を活かした共同購販（共同購買）事業や、組合で所有する共同検査場による共同検査事業、技術向上等を図る教育情報事業等を実施して、業界の発展のために寄与しています。

■ワンストップサービスを提供する共同購販事業

共同購販事業として、整備工場で使用される工具・部品・オイル・作業服・書籍等の組合員が事業に必要な商品を、『より良いものをより安く』を理念に、組合員や業界としてのニーズを把握し、安定供給できるように取り組んでいます。また、環境保全・省資源の観点から、リビルトリ



共同購販 売場

サイクルパーツの活用促進を行い、斡旋販売に取り組んでいます。

共同購販事業の特徴は、事務所内に売り場を設

けて、販売を行っている点にあります。当組合は、車検対応を行う岐阜運輸支局がすぐ隣にありますので、車検でお立ち寄りいただいた際に、必要なものを購入できるワンストップサービスの提供ができます。

事務局が業界の動向にアンテナを張り、アイテムの充実を図っています。また、利用促進キャンペーンも実施しており、魅力ある商品をより安価に提供できるように努めています。

■共同検査事業について

当組合が所有する共同検査場では、ブレーキテスター、スピードテスター、下回り点検ピット、サイドスリップテスター、イコライザー&排気ガス、ライトテスターを完備しています。



共同検査場

共同検査場では、持ち込み継続検査の予備検査業務を行います。持ち込み継続検査前に、共同検査場で予備検査をすることでスムーズに車検を受けることができます。持ち込み継続検査予約車の内、8割程度が共同検査場にて予備検査を行っています。

また、車検に必要な登録関係印紙の販売も行っており、共同購販事業と同様にワンストップサービスの提供ができています。

■ニーズに合った研修会を実施

当組合では、時代に合った、ニーズの高いテーマを選んで研修会を開催しています。研修会事業は30年程前から続けている事業で、ここ数年は中央会「組合等支援事業」を活用して実施しています。



実車を用いた研修会

組合員からも大変ニーズの高い事業となっており、募集とともに定員に達することもありますが、時間差なく平等に案内できる方法を探っています。

また、より多くの方に参加していただけるように、複数回開催や岐阜地区、飛騨地区の2か所で開催する等の工夫をしています。

経営的な内容をテーマで開催することもあります。多くは、実車を用意し、実技を行う技術研修会を開催しています。実技を行う研修会は特に高いニーズをいただいています。

自動車新機構の技術を学べる研修会の要望が多く、近年は、「ハイブリッド自動車の構造作動と点検整備」や「次世代型ディーゼルエンジン車の先進技術の構造作動と点検整備」等の最新技術をテーマに研修会を実施しました。

昨今、自動車技術の発展により、自動車整備の主な仕事の一つである「分解整備」の名称が「特定整備」に変更になりました。この変更に伴い、いくつかの対応が必要になります。こうした変化に対応するための内容や、アンケートの実施等により組合員からの声を聴きながら、今後もニーズに合ったテーマを設定し、組合員の技術向上などに寄与できたらと考えます。

◆組合が目指す方向性とは

■100年に1度の大変革の時代への対応

当組合には、自動車ディーラー系の大手整備工場から個人の自動車整備工場まであらゆる規模の事業者が加入しています。組合として、幅広い層をどのように支援していくかという課題があります。

また、自動車業界は、100年に1度の大変革の時代を迎えています。特定整備への対応や自動運転による技術の進歩、カーボンニュートラルによるEV化の促進など、目まぐるしく状況が変化しています。中小零細企業では、技術の進歩に取り残される恐れがあります。組合として、今後も自動車業界の変化に敏感に対応し、有益な情報提供や研修会を開催することで、業界の発展に貢献していきたいと考えます。

業界豆知識

車検証が電子化へ!?

自動車検査証(車検証)が電子化されるのをご存知でしょうか?

車検証電子化は令和5年1月に予定されており、現在、国土交通省では関係者と連携しながら、具体的な制度整備や関係システムの構築等に取り組んでいます。

電子車検証の仕様については、A6サイズ程度の台紙にICタグを貼り付ける方式が採用されます。

電子車検証の導入メリットは、ディーラーや整備工場などの車検業者が、いままで窓口手続きとして車庫証明申請や検査登録申請、自動車取得税の納付で各機関を訪れる必要があったものが、全ての申請・納付手続きがオンラインで一括して行うことが可能になります。

自動車ユーザーに直接メリットはありませんが、副次的なメリットが挙げられます。車検に出した際に、これまで車検業者が陸運局に足を運ぶ必要がありましたが、電子化されれば車検証が即日発行できるようになるため、車検時間の短縮につながる事が想定されます。

電子車検証の大きさは、A6サイズ+ICタグ分の余白を想定。台紙及びICタグの具体的な仕様については今後検討されます。

【電子車検証のイメージ】



(国土交通省HPより)

クローズアップ企業

瑞浪陶磁器工業協同組合 株式会社深山

《企業概要》

所在地：瑞浪市稲津町小里940-1 電話：0572-67-1522

代表：代表取締役社長 松崎英之

主な事業：陶磁器の製造販売



本社外観

コロナ禍でのオンラインを 活用した新たな取り組み

◎ 御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

◆ 創業時からのこだわりの鑄込み成形



松崎社長

当社は、昭和52年創業で、陶磁器の製造販売を行っております。

創業当時は、ろくろ成形といった機械成形が主流でしたが、当社では機械成形では難しい形状の洋食器を製造するため

鑄込み成形の専門メーカーとして始まり、今でも鑄込みという技法にこだわりをもって、ものづくりを行っています。

技術の追求だけではなく、平成11年より社内企画室を設置し、インハウスデザイナーを採用してオリジナル商品を作り始め、5度のグッドデザイン賞（Gマーク）を受賞するまでに成長しました。また、ドイツのフランクフルトで開催の国際見本市にも継続出展し、海外との取引も行っています。

形づくりの自由度の高さが特徴である鑄込み成型により、創業時から「うつくしいうつわ」づくりを続け、評価を得ています。

◎ 御社の特徴や方針を教えてください。

◆ 鑄込み成形への特化と白磁の磁器製品に注力

当社が創業時からこだわりを持っている鑄込み成形は、形づくりの自由度が高い技法であるため、丸だ



様々な形に鑄込み成形の技法が
詰まっている

けでなく、四角い器や仕切りのある器など特徴のある形の器を作ることが可能です。

また、白磁の磁器製品に注力している点も当社の特徴です。当社の製品は、ガラス質の含有率の高い白磁土で製造され、1,350度で焼成します。不純物を焼き切るまで

高温で焼き上げられた土と釉薬は、融け合い、ガラス化し、淡く透けるような光沢を生み出します。それと同時に、表面はなめらかに仕上がり、汚れにくい素材となり、長く清潔にお使いいただける製品となります。

◆ コロナ禍での新たな取り組み

近年、自社HP以外にもFacebook、Instagram、YouTube等を活用して積極的な情報発信を行っています。また、物流販売部門を担う関連会社である株式会社ミヤマプランニングではECサイトによる商品の販売も行っています。

インターネットを介しての情報発信に力を入れた経緯の一つに、新型コロナウイルス感染症があります。新型コロナウイルス感染症により、リアル展示会の相次ぐ中止等、営業活動に大きな影響があったことから、当社ではオンライン見本市を企画しました。

このオンライン見本市は、当社所有の古民家を展示会場にして、実際に製品を展示して紹介しています。今回、

一番力を入れた点は、動画を通じた製品の魅力発信です。製品について、写真や文字での説明、採寸等の数字を記載しても、感覚的なところまでは伝えきれません。今回は、「展示風景」だけではなく、台所で実際に調理し、その料理を製品に盛り付ける「料理の盛り付け」、成型工程、施釉、銅版下絵付けなどの技法を紹介する「製造過程」を動画にして公開しています。オンラインでは実際に手に取ることはできませんが、感覚的な部分がよりリアルに伝わるように意識しています。

オンライン見本市を通して、実際に商品を見てみたいとの連絡もいただいております。初の試みであり、手探りで粗削りの面もありますが、まずやってみることが大事だと考えています。

コロナ禍で営業や販売スタイルに変化が生まれていると思います。当社としても、インターネットの活用等、工夫をしながら変化に対応していけたらと考えています。



オンライン見本市 動画で製品の魅力発信

◆参窯プロジェクト始動

『カネコ小兵製陶所(土岐市下石町)』、『作山窯(土岐市駄知町)』、当社『深山』の3つの窯元で『参窯(さんかま)』という共同で情報を発信するプロジェクトを始動し

ました。

このプロジェクトは、3つの窯元が作り手の視点から、やきものやものづくりに対する思いをウェブサイトで公開しています。また、共同で展示会の出展等も考えています。

1社で取り組むより、3社で協力するほうが強い力を発揮します。インターネットの活用は繋がりを生むと考えており、3社それぞれが入口となって、広がりを見せることができたらと思います。我々の取り組みを通じて、やきものに少しでも興味を持っていただき、地場産業の活性化に繋がればと考えています。

◎最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

◆オンリーワンのものづくり、原料枯渇問題について

創業時から鑄込み成形にこだわり、脈々と受け継がれた高品質なものづくりのDNAは当社の誇りです。

当社の経営理念は「私たちにしかできないすばらしいものを提供しよう」です。どこでもできることではなく、自分たちにしかできないことに取り組んでいきたいと考えています。他社なら嫌がるような特徴のある器のオーダーにも、丁寧なものづくりで対応します。量ではなく質を追い求め、付加価値のあるものづくりに取り組み、オンリーワンのものづくりを目指していきたいと考えます。

また、陶磁器・やきものは「陶土」という枯渇性天然資源を原料としています。原料は有限資源であるため、原料枯渇は業界として大きな問題です。製造し売りっぱなしではなく、回収まで考え、不要食器や使用済み食器を再利用するリサイクル食器の製造にも取り組んでいきたいと考えます。貴重な資源を未来に残し、次世代につなぐことも役割と考えます。

【組合概要】 瑞浪陶磁器工業協同組合

代表理事 塚本哲也(株式会社丸新)

瑞浪市上平町5丁目5番地 瑞浪市産業振興センター内

組合員数: 12名

主な事業: 資材、消耗品の共同購買、陶磁器の市場開拓

※組合員企業の掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

今をどう見る～生き残りツールとしての情報

このコーナーでは、神戸国際大学経済学部 中村智彦教授より折々に感じておられる組合・中小企業向けの有益な情報についてご執筆いただきます。組合運営、企業経営にお役立てください。

自動車産業でなにが起こっているのか ～ 中小企業はどう対応すべきか

・展示会場で人だかりになった中国車

2021年6月23日から25日の間、東京ビッグサイトで開催された交通インフラWEEK2021、TECHNO-FRONTIER2021とINDUSTRY-FRONTIER2021と併催で2年ぶりにリアルで開催されたが、出展見合わせというブースも多く、人出はそれなりにあったものの、まだ本調子とは言えない状況だった。

そんな会場で、人だかりができていたところが二か所あった。一か所は、電気自動車テスラを分解展示しているところ。そして、一か所は中国の上汽通用五菱汽車が2020年7月末に発売した「宏光MINI EV」の実物が展示されているところだった。

この「宏光MINI EV」は、日本円で約45万円。中国市場では、2020年9月から12月まで4カ月連続で新エネルギー車の中で販売台数トップを維持し、20年末までに12万7651台を売り上げた。価格の安さだけでなく、1度の充電で160km以上の走行が可能で、最高速度は時速100kmまで出せる。

会場では多くの人々が熱心に写真を撮り、「これだったら日本で売り出されても、私は買う」という会話が飛び交っていた。

・中国製だからと馬鹿にしている大丈夫か

中国政府が掲げる「2025年までにEV化率20%前後」という方針を背景に、中国市場では、電気自動車(EV)をはじめとする新エネルギー車の人気・注目が非常に高まっている。

中国に約10年間駐在した経験がある中小企業経営者の一人は、「私の周囲でも中国製だという非常に馬鹿にする人たちが多く、確かに10年以上前には、おもちゃのような電気自動車だったが、最近は急激にその実力を向上させている。中国製は偽物、低品質などという見方だけでは、これからの競争に生き残れない。その一つが、軽自動車の代替となる小型電気自動車だ」と言う。

・配送用電気自動車7200台導入の衝撃

これだけ中国製EVが注目を浴びるのには、理由がある。まず、多くの人を驚かせたのは、2021年4月、中国製の電気自動車(EV)を佐川急便が本格導入することを発表したことだった。佐川急便では、配送用の軽商用バンとして、中国・広西汽車集団が製造するEVを7200台導入すると発表した。

自動車関連の中小企業経営者は、「このEVは、日本国内で企画を作り、中国で製造しているだけで、中国製のEVをそのまま輸入するわけではないと説明されているが、かなり苦しい説明だ」と言う。佐川急便が、全国で7200台を利用すれば、寒冷地から高温多湿な地まで様々な土地での使用デー

タが中国メーカーの知るところとなる。そして、そうしたデータは車両の改善に利用されていくだろう。中国駐在経験のある先の中小企業経営者は、「当然ながら、初期不良が出るだろう。それをここぞとばかりに揶揄し、馬鹿にする意見が出るだろうと思う。しかし、それは第一段階に過ぎないことを冷静に理解すべきだ」と言う。

・これからの移動手段としての超小型電気自動車

実は中国製の小型電気自動車は、じわじわと日本に入りつつある。中古車販売店として知名度の高いアップルオートネットワーク株式会社が、2019年11月から国内販売を始めているのが、超小型電気自動車e-Appleだ。定員1名の電気自動車で、家庭用電源で6～8時間の充電で、一回の充電での走行距離は約80～120Km、最高速度は時速55Kmだ。第一種原動機付自転車(原付登録)のため、車検は免除で税金も安い。高齢化する日本の地域内移動手段として注目されている超小型自動車としては、十分な性能を持っている。価格は、税込み98万円で販売されている。

図表1 自動車各社の電動化目標

自動車各社の電動化目標		
	社内	電動化目標
2040年	ホンダ	世界の新車でEV・FCVのみに
25年ころ	トヨタ	世界の新車にHVやEVの電動化機能を設定
30年	VW	世界の新車の5割をEVに
〃	ボルボ・カー	世界の新車をEVに
〃	フォード	欧州の新車をEVに
30年代早期	日産	主要市場の新車を全てEVなど電動車に
35年	GM	ガソリン車・HV全廃目標
39年	ダイムラー	全車を排ガスを出不さない「ゼロエミッション車(ZEV)」に

・電動化の流れ

ブルームバーグなどの報道によれば、世界の電気自動車は、2020年には自動車販売台数の3%、2023年には7%、約540万台に増加する見込みだ。さらにリチウムイオン電池の価格低下が進めば、2025年頃には電気自動車のライフタイムコストと初期費用は、内燃機関(ICE)乗用車のこれらコストよりも平均的に安価となると見込まれている。その時期は市場により異なり、欧州の大型車では2022年と早い一方、インドや日本の小型車では2030年以降と遅くなると見込まれている。こうしたインドや日本での電気自動車への消費者の消極的な姿勢は、メーカーがガソリンエンジンの製造を続けることができる可能性を生み出す。一見、その方が良いように思えるが、世界市場への適応がその分遅れ、ガラパゴ

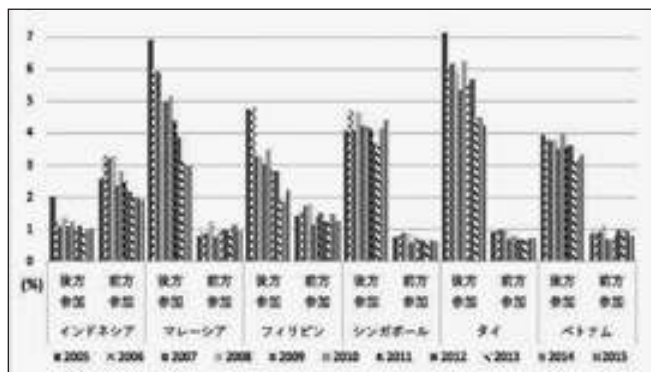
ス化する恐れがあるとしている。しかし、2020年になり、図表1のように自動車メーカー各社は次々と電動化目標を発表し、その動きを加速させている。

・ガソリンエンジンでも競争力に陰り

それではガソリンエンジンに関しては、盤石かと言えば、昨年11月にJETROが少し気になる報告書を出している。それは、次のような内容である。

「(図表2のように)中国とは対照的に、日本のGVC(グローバル・バリューチェーン)へのASEANの参加度合いは年々下降している。特に顕著なのは、マレーシアやフィリピン、タイなどの後方参加だ。ASEANの輸出メーカーへの、日本からの中間財供給が減少していることを示す。これは日本の中間財の競争力が落ちたと捉えることもできるが、日本の部品メーカーなどが、顧客の現地調達ニーズに応えるため、2000年代後半からASEANに進出して現地での部材供給を行うようになったことも要因として考えられる。」(JETRO地域・分析レポート 2020年11月9日)

図表2 ASEAN主要6カ国のGVC参加指数(対日本)



出所:JETRO地域・分析レポート 2020年11月9日(OECDより作成)

この報告は実は非常に深刻なことを指摘している。これまで、日本の自動車メーカーがその生産拠点を海外に移転させても、基幹部品に関しては日本から輸出されるので大丈夫だとされてきたのである。しかし、ここで指摘されているように日本部品メーカーの海外進出と、現地部品メーカーの技術力、品質の向上が進んできたことで、日本からの輸出が減少しているというのだ。さらに、遠回しではあるが「日本の中間財の競争力が落ちたと捉えることもできる」とも指摘している。

・この二年間での自動車産業の環境変化

新型コロナウイルスの感染拡大によって、その被害や影

響にばかり注目が集まるが、この二年間に自動車産業を取り巻く環境が急変していることは確かだ。「自動車の電動化は避けられない。ガソリンエンジンに固執するのではなく、電気自動車に必要とされる部品の製造、加工に急いで対応する必要がある」と、ある自動車関連の中小企業経営者はすでに様々な動きが出ていると言う。さらに別の経営者は、「正直なところ、コロナ禍の中でも自動車関係は順調だ。しかし、これからを考えると、新規の設備投資などはできない。新しいことに取り組みねばならないという焦りばかりがある」と言う。

一方、「トヨタが進めている水素エンジン車の開発に期待をしている」という中小企業経営者もいる。「水素エンジンは、現在のエンジンの仕組みを応用でき、多くの部品メーカーが参画できる」と言う。別の経営者は、「SDGSや環境問題のことがあって、電気自動車推進を政府が主張することも判るが、しかし、実際に電気自動車が本当に環境に良いのか議論のあるところだろう。さらに、日本の産業構造を考えれば、もう少し水素エンジン車を政府としてバックアップしてくれても良いのではないだろうか」と言う。

・激変する中で

もちろん、「心配する必要はない。四輪自動車の技術は、かなり高く、そうそう簡単に中国メーカーなどに負けることはない」と言う中小企業経営者もいる。しかし、20年ほど前に家電産業が斜陽になりつつあった頃、同じようなことを家電メーカーの人たちから聞いたことを思い出す。

コロナ禍の中で、これまでのように他国の状況が見えにくくなっている部分もある。さらに、政治的な緊張感の高まりなどから、批判的に見てしまう傾向もある。しかし、中小企業経営者としては、冷静に中国、韓国、さらにはASEAN諸国の状況や変化を観察し、自社がどのような位置に立っているのか判断していくことが重要である。

少なくとも政府が発表しているような自動車の電動化が進めば、自動車産業の影響の大きい中部地方では、産業構造の変革など、多くの中小企業は無関係ではいられない。厳しい状況の中だが、変化への順応ができるように用意が必要となっている。



展示会で注目を集める中国製45万円の小型電気自動車



中村 智彦
(なかむら ともひこ)

【ホームページ】 <http://monodukuri.jp/>

【常勤】 神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】 関西大学商学部 非常勤講師・日本福祉大学経済学部 非常勤講師

【専門】 中小企業論・地域経済論

【略歴】 昭和39年 東京生まれ

昭和63年 上智大学文学部卒業

平成12年 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了(学術博士・名古屋大学)

【活動】 愛知県「愛知ブランド」認定委員・京都府向日市ふるさと創生計画委員会座長

東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会副委員長・山形県川西町第5次総合計画アドバイザー

やまがた里の暮らし大学校「まめ学部」学部長

<http://www.facebook.com/mamenoarumachi>

中央会「第66回通常総会」を開催

中央会は、『第66回通常総会』を6月16日(水)の午後1時30分より岐阜グランドホテルで開催した。

今年の通常総会は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来賓の臨席を見送らせていただく等の規模縮小や手指消毒・検温・マスクの着用等の対策を講じた上での開催となったほか、例年開催している懇親会についても中止とした。

総会には会員ら約70人が出席した。

開会にあたり、今井会長は「一年を振り返ると、コロナで始まりコロナで終わったように思う。アメリカやイギリスのようにワクチン接種が進んだ国は経済活動が次第に活発になっている。一方、日本経済は少し低迷しており、明暗が分かれている。今年度の世界のGDP予測では、日本はG7の中で一番低い数値となっている。ワクチンの開発、パンデミックの防衛、国土の防衛も含めこのような緊急事態の時にどうするか、日本はもう一度考え直さなければならないと思う。岐阜県でもワクチン接種が進んでいる。これにより景気がV字回復することを期待している。皆様より職域接種について多数の問い合わせをいただいている。全国的にも多数のケースが出ており、大企業と同じように、中小企業が協同してワクチン接種ができるようにするにはどうすればよいかを、行政と調整している。今年度、中央会では、組合・企業間連携の促進、製造業の販売力強化、事業承継、人手不足対策への支援やものづくり補助金にかかる地域事務局の運営に加え、DXの活用やIT・IoT化に取り組む中小企業の支援を推進していく。行政に対しては、雇用調整助成金や各業界への支援を陳情していく」とあいさつした。

議事では今井会長が議長を務め、令和2年度事業報告書及び収支決算書、令和3年度事業計画案及び収支予算案などを審議し、いずれも原案どおり承認された。次に役員の新補充選挙を行い、新たに理事5名が選出された。続いて、優良組合、組合功労者、組合優良職員などに対する岐阜県中央会会長表彰を行った。(新役員・表彰受賞者は次頁のとおり)

また、辻正名誉会長より激励のことはいただいた。(激励のことはの要旨は下記のとおり)

中央会では「連携の力で無限の可能性にチャレンジ!~中央会は、「ウィズ・コロナ時代」の組合・中小企業の挑戦を応援します~」を新たなスローガンに掲げ、連携による新たな価値の創造と生産性の向上のみならず、社会の変化に柔軟に対応し、コロナ禍にあってもピンチをチャンスに変えるための新事業展開や新事業創出に取り組む組合・中小企業者に対して、中央会が持つ多様な施策やノウハウを通じて積極的に支援していく。恒常的活動である巡回、窓口相談等により把握した組合及び中小企業者のニーズに対し、専門家の派遣による課題解決策の提案、研修会の開催、情報提供を行うとともに、重点事業として①組合・企業間連携促進の支援、②新事業展開・新事業創出など“新たな取り組み”への支援、③事業承継・事業再編に向けた支援、④新型コロナウイルス感染症に対する組合・中小企業等支援、⑤ものづくり補助金にかかる地域事務局の運営に取り組んでいく。



今井会長のあいさつ



中央会会長表彰 代表者が登壇

辻 正名誉会長 激励のことは 要旨

デジタル経済が進行している。私はデジタル流通センターという構想を持っており、政府や県、市、金融機関、その他関係者に対して思いを語っている。

デジタル化やリニア中央新幹線により、「距離が無くなる。時間が無くなる。」ということがはっきりしている。わずかな時間で岐阜まで来られるのだから、本社を東京に置きながら岐阜に事業所を持つことが可能である。

岐阜市が柳津地区のものづくり産業集積地で約3万坪を準備し誘致をしたところ、Tシャツ製造と印刷業を行う大手2社が手を挙げた。東京の本社から岐阜の事業所まで社長が通う形が実現できている。また、岐阜が日本の中心に位置することもあり、その地の利を活かして、2社が製造した製品は、岐阜から全国に配送される。これら2社がモデル企業である。

新型コロナウイルス感染症の影響が各所に広がっているが、新型コロナウイルスに負けずに頑張してほしい。



東京五輪聖火リレートーチを手に激励のことはを送る辻名誉会長

～新たに選任された役員のご紹介～ (順不同・敬称略)

役名	氏名	所属団体
理事	加藤 丈詞	岐阜県金型工業組合
理事	加藤 東衛	協同組合土岐美濃焼卸センター
理事	古田 聡	岐阜県中小企業青年中央会
理事	水野 一	土岐市陶磁器卸商業協同組合
専務理事	川本 敏	本会専従

～表彰受賞者のご紹介～ (順不同・敬称略)

岐阜県中小企業団体中央会会長表彰

【優良組合・6組合】	
各務原相互経理協同組合	(理事長 星屋 昭男)
岐阜県建設工事業協同組合	(理事長 長屋 栄治)
岐阜県個人タクシー協同組合	(理事長 村上 育裕)
協業組合アイカ	(理事長 長瀬 康人)
協同組合岐阜県可児工業団地管理センター	(理事長 傍島 茂夫)
飛騨土木ブロック協同組合	(理事長 三輪 義弘)
【組合功労者・17名】	
中村 伸司	(泉陶磁器工業協同組合)
成瀬 淳司	(泉陶磁器工業協同組合)
木股 逸美	(岐阜県医薬品小売商業組合)
竹内 秀俊	(岐阜県医薬品小売商業組合)
安藤 元一	(岐阜県印刷工業組合)
田中 良幸	(岐阜県印刷工業組合)
麻生 裕司	(岐阜県コンクリート製品協同組合)
森下 哲也	(岐阜県コンクリート製品協同組合)
渡邊 逸雄	(岐阜県西部撚糸工業組合)
吉田 秀洋	(岐阜県東部電気工事協同組合)
雁部 繁夫	(岐阜県生コンクリート工業組合)
栗本 純夫	(岐阜県生コンクリート工業組合)
川瀬 忠雄	(岐阜県プラスチック工業組合)
高倉 善一	(岐阜電気工事協同組合)
井上 英司	(高山管設備工業協同組合)
松野 麗子	(高山管設備工業協同組合)
森本 禎人	(飛騨生コンクリート協同組合)
【組合優良職員・9名】	
武井 薫	(岐阜県生コンクリート工業組合)
古田 利一	(岐阜電気工事協同組合)
今井 悟	(白川ガス協業組合)
三戸 勝徳	(白川ガス協業組合)

中井 満	(高山管設備工業協同組合)
早川 小百合	(高山管設備工業協同組合)
志多 博基	(高山米穀協業組合)
服部 誠	(高山米穀協業組合)
山下 英昭	(東濃ひのき製品流通協同組合)
【組合青年部役員功労者・4名】	
平光 健二	(岐阜県自動車車体整備協同組合青年部会)
佐伯 宏暁	(岐阜県鐵構工業協同組合青年部会)
荒深 信行	(岐阜電気工事協同組合青年部)
山岡 大輔	(岐阜県プラスチック工業組合青年部)
【青年中央会役員功労者・1名】	
河田 文仁	(岐阜県中小企業青年中央会 副会長)
【中央会役員功労者・6名】	
丹羽 龍	(岐阜県鋳物工業協同組合 理事長)
傍島 茂夫	(岐阜県可児工業団地協同組合 理事長)
平嶋 千里	(岐阜県既製服縫製工業組合 理事長)
村上 正雄	(岐阜県板金工業組合 理事長)
山岡 利安	(岐阜市旅館ホテル協同組合 理事長)
倉林 雅人	(高山管設備工業協同組合 理事長)
【中央会優良職員・4名】	
大島 達也	(組織支援課 課長)
兼山 順平	(総務課 主任)
細井 美智子	(総務課 主任)
松浦 美和	(組織支援課 主任)

岐阜県中小企業団体中央会会長感謝状

【情報連絡員功労者・1名】	
上田 康	(岐阜メンズファッション工業組合)

中央会レディースクラブが通常総会を開催

県中小企業団体中央会レディースクラブ(谷田育子会長)は、6月24日にホテルグランヴェール岐山で「第22回通常総会」を開催した。

開会にあたり谷田会長は「昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により思うような活動ができなかった。今年度は、感染対策をしながら、様々な事業を実施し、会員の皆様が集まり交流できる場を提供していければ」とあいさつした。

総会にはレディースクラブ顧問である野田聖子衆議院議員の代理として秘書の宮川透氏や、岐阜県商工労働部商工政策課長の桑田善晴氏、川本敏中央会専務理事といった来賓や会員ら16名が出席し、上程された令和2年度事業報告・収支決算、令和3年度事業計画・収支予算案などについて審議し、原案のとおり可決、承認された。



通常総会の様子

青年中央会が通常総会を開催

県中小企業青年中央会(古田聡会長)は、6月29日にOKBふれあい会館で「第47回通常総会」を開催した。

開会にあたり古田会長は「新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度は思うように事業を実施することができなかった。ワクチン接種が進む一方で、現在も中小企業にとっては依然厳しい経済状況が続いているが、会員同士がより一層団結し、この苦難を乗り越えていければ」とあいさつした。

議案審議では、令和2年度事業報告・収支決算、令和3年度事業計画・収支予算などを審議し、いずれも原案どおり可決・承認された。今年度より、青年中央会では「Create the future ～共に作る新しい未来～」を新たなキャッチフレーズに掲げ、会員同士がより一層団結し、共に新しい未来を創造していくために、業界内の青年部員並びに他業界の青年部員との関係性向上や経営者としての資質向上を目指していく。



古田会長のあいさつ

県建設関連業団体部会が定会を開催

岐阜県建設関連業団体部会(荒川晶一部会長)は、6月21日にホテルグランヴェール岐山で「第44回定会」を開催した。上程された議案は全て原案のとおり可決、承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、荒川部会長が再任された。本部会では県土整備部・都市建築部・商工労働部の3部長に対する要望活動や県議会の各常任委員長を招いての「県官公需フォーラム」などを通じて、官公需の受注機会確保と地元業者への優先発注に向けた取り組みを行う。



定会の様子

県中小企業組合士協会が総会を開催

県中小企業組合士協会は、6月22日にホテルパークで「第44回通常総会」を開催した。

通常総会に先立ち、組合士認定者に対し、市原会長より組合士認定証の授与が行われた。

総会では、研修会や視察等により中小企業組合士の資質向上に取り組む事業計画などが上程され、全て原案のとおり可決、承認された。また、任期満了に伴う役員改選を行い、新たに高橋淳氏（岐阜県可児工業団地（協）専務理事）が会長に就任した。また、副会長には林敏幸氏（岐阜県金属工業団地（協）事務局長）が就任した。

続いて、高橋新会長から、平成19年から14年にわたり当協会のために尽力された市原前会長に対し、感謝の意を込めて花束が贈呈された。

総会後には中央会の川本専務理事との懇談会を行い、出席した各組合士から所属する組合の状況や中央会に対する要望事項等が述べられ、今後の組合の在り方などについて意見交換を行った。

なお、中小企業組合士制度の詳細は全国中央会HPをご覧ください。検定試験は今年も12月に行われる計画となっており、本誌8・9月号で試験の案内を予定しています。

【認定者】

加藤正道（美濃小売商業開発（協））、平井久美子・田中智（岐阜県中央会）



市原前会長と認定者



高橋新会長と市原前会長

組合等の活動

職域接種を開始

協同組合士岐美濃焼卸センター（加藤東衛理事長）

協同組合士岐美濃焼卸センターは、7月6日から土岐美濃焼卸センター（組合会館）のホールにて、新型コロナウイルスワクチンの職域接種を開始した。

新型コロナウイルス感染症は経済活動に大きな打撃を与え、陶磁器卸売業界も、展示会の相次ぐ中止等で営業活動に影響が出ている。また、一時はピークの約8%まで落ち込んだ美濃焼の輸出量であったが、海外での和食文化浸透により、近年少しずつ増加していた輸出量も新型コロナウイルス感染症で横槍が入った形となった。

職域接種とは、接種の加速化を図っていくため、企業や大学が医療従事者や誘導スタッフ、接種場所等を自らで確保することで、職域単位でワクチンの接種を行うもの。

国は、職域接種の要件として1,000人以上の接種を求めている。当組合では、職域接種の情報が出てすぐに、組合員にアンケートで接種希望者を募ったが、接種希望者は、従業員とその家族を含めても1,000人に届いていなかった。当組合と同様に土岐市の卸売業者で組織する土岐市陶磁器卸商業協同組合からの要請も受け、要件の1,000人を確保した。

職域接種の申請受付は、6月25日で一時休止となっており、実施への強い意志や早期の決断と準備が今回実施にいたった要因の一つとなっている。

職域接種は、週2日、1日150人の接種を行い、合計1,000人、2,000回の接種を行う。問診と接種は、地元医師2名と看護師6名が行い、受付や誘導は当組合事務局職員3名と派遣スタッフで対応にあたる。

「高齢者の接種は進んでいるが、高齢者でない従業員の接種はいつになるか見通しがたかないため、組合での職域接種実施はありがたい」と組合員は語った。

加藤理事長は、「職域接種は、大学や大手企業でないと難しいと思ったが、市陶商の組合員の協力もあり、いち早く1,000人集めることができたことや地元医師の協力、組合で会場を持っていたことも実施に結びついた要因。卸売業はメーカーや小売店等と接する機会が多い。オンラインを活用することも増えたが、直接会って話をする必要があるケースもある。ワクチン接種は感染リスクが無くなるものではないが、心のゆとりにつながると思う」と語った。



職域接種会場の様子

医療用ガウンを岐阜県に寄贈

岐阜県既製服縫製工業組合（平嶋千里理事長）

岐阜県既製服縫製工業組合は、組合員30社で製造した医療用ガウン8,000枚を岐阜県に寄贈した。

医療用ガウン寄贈に対する感謝状贈呈式が7月9日に岐阜県庁で行われ、古田肇岐阜県知事より感謝状が贈呈された。ガウンは新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる県内の医療機関に配られ使用される。

平嶋理事長は、「長引くコロナ禍で、岐阜県職員や医療従事者の方々の使命感あふれる対応に生命の安全・安心が守られていると認識している。そうした中で、当組合で何かできないかと考え医療用ガウンを寄贈させていただいた。何かの手助けになれば」と話した。

古田知事は「新型コロナウイルス感染症との戦いは総力戦であり、その中で医療用ガウンは必需品である。この度の寄贈に大変感謝する」と話した。



古田知事(左から3人目)と
平嶋理事長(左から4人目)と組合役員ら

岐阜県と災害時の物資調達に関する協定を締結

岐阜県テント・シート工業組合（小島基弘理事長）

岐阜県テント・シート工業組合は、岐阜県と災害時の物資調達に関する協定を締結した。

協定の概要は、岐阜県の要請に基づき、組合が防災用テントや医療・住居用テント、避難所内のパーティション、屋根補修用のブルーシート等の物資を調達するもの。組合では同様の締結を昨年にも岐阜市、羽島市と結んでいる。

締結式が6月17日に岐阜県庁で行われ、小島理事長は「近年は、地震や豪雨等、いつ災害が起きてもおかしくない状況であり、防災の重要度は増している。いざという時の備えとして活用していただけたら」と話した。



小島理事長(右)、渡辺正信岐阜県危機管理部長(左)

宿泊施設応援キャンペーンを実施

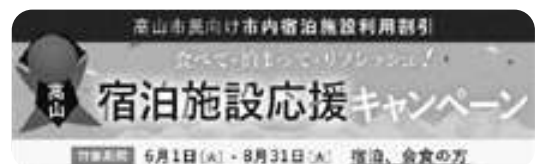
飛騨高山旅館ホテル協同組合（村井繁喜理事長）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、観光業界が冷え切っているおり、観光地である「飛騨高山」への観光客も激減している。それを受け、飛騨高山旅館ホテル協同組合では「高山市産業団体等消費活性化策支援事業補助金」を活用して、「食べて・泊まって・リフレッシュ！」宿泊施設応援キャンペーンを実施した。

キャンペーンは、高山市民を対象に組合加盟施設で先着1,780名に料金の割引をするもの。宿泊金額1人当たり12,000円未満で2,000円割引のAプラン。宿泊金額1人当たり12,000円以上で5,000円割引のBプラン。会食金額1人当たり5,500円で2,500円割引のCプランの計3プランが用意された。

キャンペーン開始の5月25日から申し込みが殺到し11日間で用意した1,780名分すべてが無くなり受付終了となった。

当組合の中畑総務局長は、「キャンペーン開始時、岐阜県はまん延防止等重点措置区域に指定されていたため、対象は高山市民に限定した。想像以上の反響があり、うれしく思う。まずは地元の方で飛騨高山を盛り上げていければ」と話した。



「食べて・泊まって・リフレッシュ！」
宿泊施設応援キャンペーン

新型コロナウイルス感染対策を講じて総会開催

飛騨高山旅館ホテル協同組合（村井繁喜理事長）

飛騨高山旅館ホテル協同組合は、6月24日にホテルアソシア高山リゾートで第110回定期総会を開催した。

岐阜県はまん延防止等重点措置区域に指定されていたため、指定の解除を待っての総会開催となった。当日はマスク着用、検温、消毒等の感染拡大対策に加えて、唾液による抗原検査キットにて参加者全員の検査を行う等、徹底した感染対策を講じての開催となった。

総会には来賓、賛助会員も招待し、コロナ禍前と同様の規模で開催した。

総会後には、講師に経営コンサルタント伊藤順昭氏を招き、「新型コロナウイルス感染症に対応した補助事業等を活用した経営戦略について」をテーマにした講演会も行われた。

総会の場で、村井理事長は「持続可能な宿泊経営と観光地を目指して『お客様を笑顔に、スタッフを幸せに、街を元気に!』のスローガンを制定して、組合員と共に頑張っていきたい」とあいさつした。



総会・講演会の模様

ハイブリッド方式で研修会を開催

岐阜県自動車車体整備協同組合（平野将告理事長）

岐阜県自動車車体整備協同組合は、中央会「青年部研究会事業」を活用し、6月27日に青年部を対象とした研修会を開催した。研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、会場・オンラインで参加できるハイブリッド方式で開催した。

研修会は、あらゆる業種業界を対象にWebサイト制作やリスティング広告・ウェブマーケティングまで幅広く展開している(株)GRACEのマネージャー日浦涼氏を講師に招き、「効果的なWeb集客」をテーマに講演があった。日浦氏は自身の自動車整備工場でのフロント業務の経験を踏まえて、Webマーケティングについて解説を行った。

研修会の企画を行った森敬次青年部会長は「元々は広い会場での開催で感染症対策を行う予定であったが、まん延防止等重点措置区域であることを考慮し、リアル+オンラインのハイブリッド方式を採用した。無事に開催できてよかった」と語った。



リアル会場からオンラインに配信

プロフェッショナル・ミシンオペレーター育成講座開講

岐阜県既製服縫製工業組合（平嶋千里理事長）

岐阜県既製服縫製工業組合は、「プロフェッショナル・ミシンオペレーター育成講座」を6月23日に開講した。

当組合では付加価値の高いものづくりのための技術者育成を重要事業と位置づけ、中央会の「組合等支援事業」を活用して講座を開講しており、今年度で5年目を迎える。

過去の受講生の中から、国家検定である婦人子供服製造技能士 婦人子供既製服製造作業1級、2級の合格者や、厚生労働省「ものづくりマイスター」婦人子供服製造部門での認定者を輩出する等の成果をあげている。また、当講座の様子は業界新聞をはじめ、各所で報じられ、業界内では反響を呼んでおり、新規組合員の加入にもつながっている。

今回の講座もパターン、縫製の方面で日本最高レベルの講師を招聘し、約半年間、全5回の講座を通じて、製図から縫製までを行い、1着のジャケットの丸縫いをしてゴールとなる。今年は8名が参加し、技術の習得を目指す。

講座開講にあたって平嶋理事長は「日々の仕事で携わる方にとっても難易度の高い技術が学べる。今年の講座も充実した内容となっているため、しっかり取り組んでほしい」とあいさつした。



プロフェッショナル・ミシンオペレーター育成講座の様子



景況レポート

令和3年
6月末調査
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名
の情報連絡票から

【I】6月の特色 (調査項目は新型コロナウイルス感染症の影響があった前年同月との比較)

- ◆景況感DI値マイナス28 前月比13ポイントの改善
- ◆製造業は景況感DI値が前月比20ポイントと大幅改善している
- ◆非製造業は移動自粛や飲食店等への営業制限の要請により厳しい状況が続いており、製造業と非製造業間での格差が顕著となっている
- ◆多くの業種で半導体不足、ウッドショック等の影響が広がっている

【II】6月の概況

当月の概況は新型コロナウイルス感染症の影響が顕著化した時期との比較となる。

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転14、悪化42で、DI値はマイナス28となり、前月のDI値マイナス41に対し、13ポイントの改善となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はマイナス16となり、前月比20ポイントの改善、非製造業のDI値はマイナス42となり、前月比5ポイントの改善となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業においては、米菓、毛織物、家具、プラスチック、窯業原料、メッキ、県金属工業団地、可児工業団地の8業種(前月比+6業種)であり、悪化したとする業種は、ニット工業、東濃ひのきの2業種(前月比-1業種)であった。

また、非製造業において改善したとする業種は、広告美術、鉄構造物、電気工事、建築板金の4業種(前月比+3業種)であり、悪化したとする業種は、石油製品販売、下呂温泉旅館の2業種(前月比-3業種)であった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はプラス3で前月比13ポイントの改善、販売価格DI値はマイナス4で前月比10ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス31で前月比7ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス23で前月比±0ポイントの横ばい、雇用人員DI値はマイナス15で前月比1ポイントの改善となった。

コメントを見ると、プラスの内容について、製造業では、「販売店の催事等が徐々に再開され、購買客の自粛感が少しずつ薄れてきていることが要因の一つとなり、景況が好転した。(家具)」、「可児工業団地の中小企業エリアの景況感を表すDI値がプラスに転じたのは2年振りとなる。7割方の企業がコロナ禍前の状態に回復している。(可児工業団地)」といった内容が報告された。

非製造業では、「コロナ禍で家にいる時間が多くなったせいか、個人住宅のリフォームが増加傾向にあり、水回りも多くなってきている。(管設備工事)」といった内容が報告された。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響によるマイナスのコメントも多数報告されており、製造業では、「需要の低迷、コロナ禍における消費低迷により景況は悪化している。昨年度は特別定額給付金の消費の後押しもあったが、今年は厳しい推移である。(紳士服)」、「昨年に比べれば微増の売上となったが、一昨年比で50%減という厳しい状況である。「少ないけれど急ぎで」と要望されることが多く、メーカーとしては二重苦、三重苦が続きそうである。(特殊紙)」などといった内容が報告された。

非製造業では、「県のまん延防止等重点措置や岐阜市独自の緊急事態宣言は解除されたが、居酒屋等のアルコールを提供する店は依然苦しい状態にあるため、景況は悪化している。(水産物)」、「まん延防止等重点措置区域に指定されており、お酒の提供もできなくなり、宿泊利用者もキャンセルするなど利用者が激減した。政府の緊急事態宣言が発出されている以上、県をまたいでの外出が出来ないので観光に出かけることができない。(高山旅館)」などといった内容が報告された。

また、半導体不足は自動車業界以外にも広がっており、「半導体の不足により、一部メーカーのルームエアコンや火災報知器、インターホン、エコキュートなどの商材供給に支障が出ている。(電設資材卸)」、「一部のメーカーでは、半導体不足による減産で商品が不足し、販売に悪影響がでている。(家電機器販売)」といった内容が報告された。ウッドショックについては、「新築の住宅がウッドショックの影響もあり受注が減る傾向にある。(室内装飾)」などといった内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

6月次景況	
項目	DI値
景況	-28(13)
売上高	3(13)
販売価格	-4(10)
収益状況	-31(7)
資金繰り	-23(0)
雇用人員	-15(1)

カッコ内は前月比増減ポイント

自動車販売、石油製品販売、生花販売、土木(岐阜地区)、土木(飛騨地区)、電気工事、貨物運送(岐阜地区)である。

売上高が減少した業種は22業種(前月比-7業種)あり、特にサービス業の区分で多かった。

【販売価格の動向】

販売価格DI値マイナス4、前月比10ポイントの改善。

販売価格が上昇した業種は8業種(前月比+5業種)あり、製造業の銘木、東濃ひのきと、非製造業の水産物商業、中古自動車販売、石油製品販売、生花販売、大垣市商店街、電気工事である。

販売価格が低下した業種は11業種(前月比-2業種)あり、特にサービス業の区分で多かった。

【売上高の動向】

売上高DI値プラス3、前月比13ポイントの改善。

売上高が増加した業種は24業種(前月比+2業種)あり、製造業の米菓、毛織物、婦人・子供服、銘木、家具、東濃ひのき、機械すき和紙、特殊紙、紙加工品、プラスチック、陶磁器(工業)、碎石生産、鋳物、刃物等金属製品(輸出)、メッキ、可児工業団地と、非製造業の機械・工具販売、中古

自動車販売、石油製品販売、生花販売、土木(岐阜地区)、土木(飛騨地区)、電気工事、貨物運送(岐阜地区)である。

売上高が減少した業種は22業種(前月比-7業種)あり、特にサービス業の区分で多かった。

【収益状況の動向】

収益状況DI値マイナス31、前月比7ポイントの改善。

収益状況が好転した業種は8業種(前月比+1業種)であり、製造業の毛織物、銘木、紙加工品、刃物等金属製品(輸出)、メッキと、非製造業の機械・工具販売、生花販売、土木(飛騨地区)である。

収益状況が悪化した業種は30業種(前月比-4業種)であり、特に食料品、繊維・同製品、商店街、サービス業の区分で多かった。

【資金繰りの動向】

資金繰りDI値マイナス23、前月比±0ポイントの横ばい。

資金繰りが好転した業種は2業種(前月比±0業種)であり、製造業の可児工業団地と、非製造業の機械・工具販売である。

資金繰りが悪化した業種は18業種(前月比+1業種)であった。特に、商店街、サービス業の区分で多かった。

【雇用人員の動向】

雇用人員DI値マイナス15、前月比1ポイントの改善。

雇用人員が増加した業種は2業種(前月比±0業種)であり、製造業の米菓、鋳物である。

雇用人員が減少した業種は12業種(前月比-1業種)であり、特に一般機械の区分で多かった。



県内中小企業

(6月末調査)

主要業種の景気動向

製造業		前年同月比					
区分	業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	▲	△	△	△	△	△
	食肉(国産)	△	△	▲	△	△	▲
	菓子	▲	△	▲	△	△	▲
	米	○	△	△	△	○	△
	製麺	▲	△	▲	▲	△	▲
繊維・同製品	擦糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業	△	△	▲	△	△	▲
	毛織物	○	△	○	△	△	○
	合成繊維織物	▲	△	▲	△	△	▲
	メンズアパレル	▲	△	▲	△	△	▲
婦人・子供服	縫製(既製服)	○	▲	▲	▲	▲	▲
	縫製(既製服)	▲	△	▲	▲	△	▲
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	○	○	○	△	△	△
	家具	○	△	△	△	△	○
	東濃ひのき	○	○	▲	▲	△	▲
紙紙加工品	機械すき和紙	○	△	△	△	△	△
	特殊紙	○	△	△	△	△	△
	紙加工品	○	△	○	△	△	○
印刷	印刷	▲	△	▲	▲	▲	▲
化学ゴム	プラスチック	○	△	△	△	△	○
窯業・土石	陶磁器(工業)	○	△	△	△	▲	○
	タイル	▲	▲	▲	△	△	▲
	窯業原料	△	△	△	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
	砂利生産	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産	○	△	△	△	△	△
	鋳物	○	△	△	△	○	○
	刃物等金属製品(輸出)	○	△	○	△	△	○
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ	○	△	○	▲	△	○
	県金属工業団地	△	△	△	△	△	△
	可児工業団地	○	△	△	○	▲	△
金型	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
輸送用機器	輸送用機器	▲	△	▲	▲	△	▲

非製造業		前年同月比						
区分	業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感	
卸売業	電設資材卸	△	▲	▲	△	△	▲	
	陶磁器産地卸	△	△	△	△	△	△	
	機械・工具販売	○	△	○	○	△	○	
小売業	青果販売	△	△	△	△	△	△	
	水産物商業	▲	○	▲	△	△	▲	
	家電機器販売	△	△	△	△	△	▲	
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△	
	中古自動車販売	○	○	△	△	▲	△	
	石油製品販売	○	○	△	△	△	△	
	共同店舗(飛騨)	▲	△	▲	△	△	▲	
	生花販売	○	○	○	△	△	△	
商店街	岐阜市商店街	△	△	▲	▲	△	▲	
	大垣市商店街	△	○	▲	▲	△	▲	
	高山市商店街	▲	△	▲	▲	▲	▲	
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲	
	長良川畔旅館	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	下呂温泉旅館	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	高山旅館	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
	クリーニング	▲	△	▲	▲	▲	▲	
	広告美術	△	▲	▲	▲	△	△	
	旅行業	▲	△	▲	▲	△	▲	
	理容・美容業	▲	△	△	△	△	△	
	建設業	土木(岐阜地区)	○	△	△	△	△	△
		土木(飛騨地区)	○	△	○	△	△	○
建築設計		▲	▲	▲	▲	△	▲	
鉄構造物		△	△	▲	△	△	△	
電気工事		○	○	△	△	▲	△	
管設備工事		△	△	△	△	△	△	
建築板金		△	△	△	△	△	△	
室内装飾		▲	▲	▲	△	△	▲	
木造建築		△	△	△	△	△	△	
運輸業		貨物運送(岐阜地区)	○	△	▲	△	△	△
	軽運送	△	△	△	△	△	△	
その他の非製造業	貸植木業	△	△	△	△	△	▲	

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]
 △: [不変]
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（令和2年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は過去のものを含め全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」で公開していますのでぜひご活用ください。【組合事例検索システム】<http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

たかやま林業・建設業協同組合

建設業と林業の“二律共生”で林建協働の推進

主な業種	土木工事業、林業		
住所	岐阜県高山市下岡本町2344-6 高山建設産業会館内		
URL	http://www.takayama-rinken.com/		
設立	平成22年2月24日	組合員	19人
		出資金	9,500千円

■ 背景・目的

飛騨高山地域は、岐阜県の約2割を占める地域であるがその林野率は93%、実に235,000haの森林面積を誇り、その内57.4%の135,000haが私有林となっている。その広い森林地域において、十分に森林管理が行き届かない状況を、林業と建設業の協働で、少しでも改善することが、当組合の設立の目的である。

■ 取り組みの手法と内容

事業の内容として、(a)森林管理に伴う補助金制度の活用で作業道整備を進め、効率的な森林管理を可能にする、(b)建設業に応用のできる現場対応力を、作業道整備で体験・育成する機会として活用する、という林業・山林保有者側のメリットと、建設業側のメリットを両立させることを目指した。ビジネスのサイクルが短期か長期かというだけで、“二律背反”してしまいがちな建設業と林業の協働であるが、互いの課題を解決する現場として、作業道の整備をきっかけとした林建協働モデルで、“二律共生”を目指したのである。

この目指す姿を実現するために、組合員である建設業者と森林組合の経営層が相互に理解を進めると共に、現場で円滑な協働の仕組みを回すために、現場作業での新工法の開発を可能にする体制や、リスク回避にもつながるオリジナルユニフォームの利用、林野庁長官を始めとした視察の受入れを進めるとともに、それらの事業の基本となる森林経営計画の策定ノウハウを修得し、横展開することにも努めた。さらに、国有林以外の官有林の所有者である自治体や、私有林の所有者などに対して、森林経営計画の提案を実施することで、毎年事業対象領域を拡大していった。

この“二律共生”での林建協働の活動は、全国的にもモデル的な事業として各地で導入が検討され始めている。

■ 成果とその要因

設立以来、建設業の組合員数も増加しており、事業対象領域面積の拡大や作業道の延長につながっている。この成功の背景には、林建協働という互いのビジネスモデルの違いを超えて、地域の林産資源の付加価値化を目標に、相互の業界の“二律共生”を、トップから現場まで浸透させ、理事長の強いリーダーシップの下で実現したことが大きい。

① キーファクター

異業種連携においては、互いの違いを受け入れ、相互に成長する仕組みを、トップから現場にまで浸透させることで、持続的に目標を実現することができる体制が構築できる。

～イベントの活性化、組合運営のヒントに～

組合イベント情報紹介

このコーナーでは、今後、組合が主催するイベントや組合が参加するイベントの情報を紹介し、イベント等の活性化や他の組合の運営のヒントに繋がります。次号Vol.674（9月25日発行号）の掲載情報を募集しています。応募方法については、本会HPをご確認ください。

協同組合日本ライン花木センター

日本ライン花木センター夏祭り

協同組合日本ライン花木センターでは、組合員が生産した花き等の共同販売を行い、洋らんなどの鉢物から最近人気の果樹、植木等を幅広く取りそろえ、東海地方最大級の品揃えを誇っています。

毎年、お盆の時期には、日頃から花木センターをご利用いただくお客様に感謝の気持ちを込めて、夏祭りを開催しています。祭りの最後には福引き餅投げが行われ、組合員が生産した花きや、大きな胡蝶蘭が当たります。高齢者から子どもまで老若男女が楽しめる一大イベントとなっています！！

日時 8月15日 18:00～21:00 (予定)

場所 日本ライン花木センター 国道41側駐車場
(可児市土田4567)



餅投げの様子(平成30年開催時)

内容

- ・鳩吹稲荷神事 参拝
- ・納涼盆踊り大会
- ・福引き付餅投げ
- ・屋台等の出店も並びます

問合せ先：(協)日本ライン花木センター事務局 0574-25-3126

備考：新型コロナウイルス感染症の感染状況次第で中止になる場合があります。中止の場合はHPで発表しますのでご確認ください。

【(協)日本ライン花木センターHP】<https://kaboku.jp/>



「第73回中小企業団体全国大会(神奈川県)」のご案内

全国の中小企業団体が一堂に会する「第73回中小企業団体全国大会」が今年は神奈川県で開催されます!

全国約3万組合等の総意を内外に広く表明し、国等に対して中小企業の実情と振興施策を訴え、中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的としています。

多くの組合の役職員、組合員にご参加いただけますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止や規模縮小での開催になる可能性がありますことをご了承下さい。

【日 時】令和3年11月25日(木)

【場 所】「パシフィコ横浜国立大ホール」(横浜市西区みなとみらい1-1-1)

【大会参加費】1人 6,000円

【申込方法】詳細が決まりましたら、本会HPに掲載します

【問 合 せ】岐阜県中央会 組織支援課 TEL058-277-1102



中央会日誌

(5月21日~7月16日)

【中央会事業】

6月16日	中央会 総会
6月21日	建設関連業団体部会 定会
6月22日	組合士協会 総会
6月24日	レディースクラブ 総会
6月29日	青年中央会 総会

組合等活動支援事業

6月23日・7月14日	岐阜県既製服縫製工業組合
6月27日	岐阜県自動車車体整備協同組合青年部会
6月30日	奥飛騨宝温泉協同組合
7月 6日	岐阜県舞台設備管理事業協同組合
7月 8日	高山米穀協業組合

【出席会議等】

5月25日	「モノづくり」産業支援機関連携会議
5月26日	清流の国ぎふ女性の活躍推進会議
5月28日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
6月 8日	岐阜県議会企画経済委員会
6月 8日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
6月 9日	岐阜県事業承継ネットワーク会議
6月18日	(福)岐阜県社会福祉協議会 評議員選任委員会
6月22日	岐阜県職業能力開発協会 理事会・通常総会
6月23日	アフターコロナ・チャレンジ事業者応援補助金審査委員会
6月29日	岐阜県インターンシップ推進協議会 総会
6月29日	(公財)岐阜県産業経済振興センター 評議員会
6月30日	若年技能者人材育成支援等事業に係る連携推進会議
7月 3日	岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会・対策本部本部員会議
7月 5日	岐阜県地方最低賃金審議会
7月12日	中小企業合同新入社員研修委託業務プロポーザル評価会議



職員コラム

中央会職員が交代で徒然なるままに綴ります。



組織支援課
松浦 美和

令和元年11月、元気な男の子を出産しました。年が明ければ、世界は一変し、外も人と会うことも難しくなりました。私は、初めての育児に奮闘する毎日で、上手くいかないことも多く、落ち込むこともありましたが、ただ目の前にある命を必死に守ってきました。時には外に出掛け人と会って気晴らしをしたいと思っても、外出自粛の世の中ではそうはいかず、日中は家で子供と二人きり。子供の成長と笑顔を毎日の励みとして乗り切りました。約1年2ヶ月の産前産後休業、育児休業を経て、昨年12月に短時間勤務制度を利用して仕事に復帰しました。1年2ヶ月のブランクは大きく、仕事を取り戻すのに時間がかかりました。マスクと消毒は欠かせず、セミナーをオンライン配信するなど休業前とは変わった点もありますが、巡回や相談、事業等を通じて組合を支援するという中央会の仕事は全く変わっていません。休業中は人と気軽に話して話すことが難しかったからこそ、仕事とはいえ組合の皆さんと直接会ってお話できることが嬉しく、「また頼りにしているよ」とお声掛けいただき、社会と再びつながりを持つたことを実感しています。

仕事と育児の両立は想像以上に大変で、朝からバタバタしており、家では自分一人の時間はほとんどありません。職場での昼休憩が唯一のボーっとできる時間です。話せる言葉が少しずつ増え、元気がいっぱい走り回っている我が子と共に、私自身も成長していきたいと思っています。今後も育児と両立しながら仕事も頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いたします。



商工中金の 中小企業組合支援

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

個人のお客さま向けの定期預金です。

有利な金利設定
(当金庫内比較)

固定金利の半年複利
(元本保証)

1年、2年、3年から
期間が選べる

\\ 安心、確実、お得に増やす //

定期預金

マイハーベスト

岐阜支店 058(263)9191 〒500-8828 岐阜市若宮町9-16

高山営業所 0577(32)3353 〒506-0025 高山市天満町5-1

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索



人を思う。未来を思う。

商工中金

この広報誌は岐阜県からの助成を受けています。